

承者組合并ニ釜焚夫組合ハ別記ニ通シテ塩業者ニ  
側ニ從來塩田稼業者ノ芳銀ヲ定ルニ例年十二月十日  
後ニ於テ組合總會ヲ開催シ其ノ翌一ケ年間ノ貸銀  
協議シテ本決定額ニ基キ翌年一月一日ヨリ又ハ  
ナカカカ決定ノ標準ハ塩賠償價格ノ高低及  
價ノ高低并、其ノ年度内ニ於ケル製取塩収獲量  
ヲ主トシ且、塩田稼業者中 最賃金率高キ次  
焚夫ノ芳銀ヲ最初ニ決定シタ後其ノ他各  
賃金(目代頭、日雇、小供、慣子、毒トシカキ等)ニ  
テリ而シテ大正十一年度釜焚夫ノ賃金ハ一  
ニ前年度金四十円ナリシヲ今十二年度ハ米價ノ下  
一取方協賃銀ノ低下ヲ理由トシテ一日一円ニテ前  
年度(雇傭契約成立ト同時ニ前渡ヲス)ニテ四ニ低下

也ニ別ノ芳賃者例ニテハ若シテ此ノ若キナカリ  
然ルニ東濱塩業組合ニ属スル釜焚夫然九十名ハ本  
者新浜村塚本作太郎(東濱釜焚夫組合長)一  
集合十三年度ニ於ケル釜焚夫賃金値上ノ件ニ付協  
議セシ所 米價稍昂騰及石炭代価低下ヲ理由ト  
シ満場一致大正十一年度通り値上ヲ塩業組合  
交渉スルコトヲ決議スルト共、西濱塩業組合ニ属スル西  
濱釜焚夫組合ニテ相済シ其ノ賛成ヲ得ルニ於テハ  
東西同一步調ヲ以テ東西塩業者組合ニ交渉  
スルヲ若シ西濱側カ賛成セザレバ東濱側ニ交渉  
スルヲシ今日前記塚本作太郎外四名ノ西  
濱釜焚夫組合長ニ交渉セシムルハ申合セテテテ  
書キ)